

平成31年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オリエンタルランド

 コード番号 4661 URL <http://www.olc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上西 京一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 堀川 健司

TEL 047 - 305 - 2035

定時株主総会開催予定日 平成31年6月27日

配当支払開始予定日

平成31年6月28日

有価証券報告書提出予定日 平成31年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期の連結業績(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期	525,622	9.7	129,278	17.2	129,439	15.9	90,286	11.2
30年3月期	479,280	0.3	110,285	2.5	111,660	2.6	81,191	1.4

(注) 包括利益 31年3月期 93,754百万円 (10.3%) 30年3月期 85,014百万円 (6.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
31年3月期	274.65	267.59	11.8	13.2	24.6
30年3月期	246.70	236.50	11.7	12.7	23.0

(参考) 持分法投資損益 31年3月期 349百万円 30年3月期 109百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期	1,051,455	803,201	76.4	2,442.97
30年3月期	910,673	721,976	79.3	2,196.56

(参考) 自己資本 31年3月期 803,201百万円 30年3月期 721,976百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
31年3月期	134,974	135,360	36,601	222,551
30年3月期	122,860	44,981	33,345	186,350

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
30年3月期		20.00		20.00	40.00	13,167	16.2	1.9
31年3月期		20.00		22.00	42.00	13,825	15.3	1.8
32年3月期(予想)		22.00		22.00	44.00		22.2	

(注) 配当金総額には、従業員持株会型ESOPの信託口に対する配当金支払額(30年3月期20百万円、31年3月期17百万円)を含んでおります。

配当性向は、この配当金総額を親会社株主に帰属する当期純利益で除して算出しています。

3. 平成32年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	233,360	6.9	48,470	21.7	49,480	21.0	34,700	20.0	105.54
通期	479,240	8.8	92,940	28.1	93,880	27.5	65,300	27.7	198.61

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期	363,690,160 株	30年3月期	363,690,160 株
期末自己株式数	31年3月期	34,908,727 株	30年3月期	35,004,817 株
期中平均株式数	31年3月期	328,734,918 株	30年3月期	329,108,245 株

(注)従業員持株会型ESOPの信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

(参考)個別業績の概要

平成31年3月期の個別業績(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期	449,784	10.2	109,658	15.8	118,726	14.1	85,662	13.5
30年3月期	408,150	0.4	94,703	3.6	104,098	2.4	75,450	2.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期	260.58	253.92
30年3月期	229.26	219.83

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期	996,342	741,812	74.5	2,256.25
30年3月期	856,774	664,557	77.6	2,021.86

(参考) 自己資本 31年3月期 741,812百万円 30年3月期 664,557百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料、
 主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・ 平成31年4月25日(木)・・・・・・機関投資家向け決算説明会

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、海外景気の下振れリスクがあるなか、雇用・所得環境の改善傾向により緩やかに回復しており、個人消費にも持ち直しの動きが見られました。

当社グループにおいては、東京ディズニーリゾート35周年イベントが好調に推移したことなどから、テーマパーク入園者数及びゲスト1人当たり売上高が増加したことなどにより、売上高は525,622百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は129,278百万円（同17.2%増）、経常利益は129,439百万円（同15.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は90,286百万円（同11.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

2019年3月期 セグメント別業績の概況

（単位：百万円）

	前期	当期	増減	増減率（%）
売上高	479,280	525,622	46,342	9.7
テーマパーク	395,978	437,495	41,517	10.5
ホテル	66,447	72,427	5,979	9.0
その他	16,854	15,699	△1,154	△6.9
営業利益	110,285	129,278	18,992	17.2
テーマパーク	91,636	107,278	15,642	17.1
ホテル	16,298	19,218	2,920	17.9
その他	2,071	2,527	455	22.0
消去又は全社	279	253	△26	△9.4
経常利益	111,660	129,439	17,778	15.9
親会社株主に帰属する当期純利益	81,191	90,286	9,094	11.2

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産の部合計は、1,051,455百万円（前期末比15.5%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加などにより、441,835百万円（同23.0%増）となりました。

固定資産は、有形固定資産の増加などにより、609,619百万円（同10.5%増）となりました。

(負債)

当連結会計年度末の負債の部合計は、248,253百万円（同31.6%増）となりました。

流動負債は、1年内償還予定の社債の増加などにより、154,652百万円（同25.1%増）となりました。

固定負債は、社債の増加などにより、93,601百万円（同43.8%増）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の部合計は、利益剰余金の増加などにより、803,201百万円（同11.3%増）となり、自己資本比率は76.4%（同2.9ポイント減）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスになったものの、営業活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローがプラスになったことから、222,551百万円（前期末残高186,350百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、134,974百万円（前年同期122,860百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が増加した要因は、税金等調整前当期純利益が増加したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△135,360百万円（同△44,981百万円）となりました。前年同期に比べ、支出が増加した要因は、定期預金の預入による支出が増加したことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは36,601百万円（同△33,345百万円）となりました。前年同期に比べ、収入が増加した要因は、社債の発行による収入が増加したことなどによります。

(4) 今後の見通し

2020年3月期は東京ディズニーリゾート35周年イベントの翌年であることなどにより、テーマパーク入園者数及びゲスト1人当たり売上高の減少を見込んでいることから、売上高は479,240百万円（当期比8.8%減）、営業利益は92,940百万円（同28.1%減）、経常利益は93,880百万円（同27.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は65,300百万円（同27.7%減）となる見通しです。

セグメント別の業績見通しは次のとおりです。

2020年3月期 セグメント別業績の見通し

（単位：百万円）

	当期実績	次期予想	増減	増減率 (%)
売上高	525,622	479,240	△46,382	△8.8
テーマパーク	437,495	397,550	△39,945	△9.1
ホテル	72,427	65,650	△6,777	△9.4
その他	15,699	16,040	340	2.2
営業利益	129,278	92,940	△36,338	△28.1
テーマパーク	107,278	75,910	△31,368	△29.2
ホテル	19,218	14,670	△4,548	△23.7
その他	2,527	2,150	△377	△14.9
消去又は全社	253	210	△43	△17.1
経常利益	129,439	93,880	△35,559	△27.5
親会社株主に帰属する当期純利益	90,286	65,300	△24,986	△27.7

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当連結会計年度 (平成31年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	296,350	377,551
受取手形及び売掛金	19,990	22,083
有価証券	21,709	20,999
商品及び製品	10,301	9,256
仕掛品	177	477
原材料及び貯蔵品	7,494	7,590
その他	3,113	3,882
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	359,134	441,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	676,401	686,623
減価償却累計額	△400,892	△415,651
建物及び構築物 (純額)	275,508	270,971
機械装置及び運搬具	262,533	270,947
減価償却累計額	△235,340	△242,821
機械装置及び運搬具 (純額)	27,193	28,125
土地	117,653	117,653
建設仮勘定	38,747	82,342
その他	86,795	90,917
減価償却累計額	△72,320	△75,689
その他 (純額)	14,475	15,228
有形固定資産合計	473,578	514,322
無形固定資産		
その他	8,865	13,770
無形固定資産合計	8,865	13,770
投資その他の資産		
投資有価証券	51,493	60,810
退職給付に係る資産	4,664	5,666
その他	13,028	15,140
貸倒引当金	△91	△88
投資その他の資産合計	69,095	81,527
固定資産合計	551,539	609,619
資産合計	910,673	1,051,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当連結会計年度 (平成31年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,557	19,907
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	4,845	6,119
未払法人税等	19,989	22,470
その他	81,230	86,154
流動負債合計	123,623	154,652
固定負債		
社債	50,000	80,000
長期借入金	4,739	2,304
退職給付に係る負債	4,631	4,483
その他	5,702	6,813
固定負債合計	65,073	93,601
負債合計	188,697	248,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,201	63,201
資本剰余金	111,911	111,938
利益剰余金	619,599	696,718
自己株式	△89,794	△89,183
株主資本合計	704,918	782,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,585	19,320
繰延ヘッジ損益	△314	—
退職給付に係る調整累計額	1,787	1,206
その他の包括利益累計額合計	17,058	20,526
純資産合計	721,976	803,201
負債純資産合計	910,673	1,051,455

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
売上高	479,280	525,622
売上原価	302,771	326,283
売上総利益	176,508	199,339
販売費及び一般管理費	66,223	70,061
営業利益	110,285	129,278
営業外収益		
受取利息	170	146
受取配当金	734	707
持分法による投資利益	109	—
受取保険金・保険配当金	498	508
その他	931	837
営業外収益合計	2,443	2,198
営業外費用		
支払利息	208	222
持分法による投資損失	—	349
固定資産除却損	64	403
支払手数料	575	754
その他	219	306
営業外費用合計	1,068	2,037
経常利益	111,660	129,439
特別利益		
投資有価証券売却益	1,336	—
特別利益合計	1,336	—
税金等調整前当期純利益	112,997	129,439
法人税、住民税及び事業税	35,432	39,193
法人税等調整額	△3,626	△40
法人税等合計	31,805	39,153
当期純利益	81,191	90,286
親会社株主に帰属する当期純利益	81,191	90,286

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
当期純利益	81,191	90,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,179	3,735
繰延ヘッジ損益	5	314
退職給付に係る調整額	637	△580
その他の包括利益合計	3,822	3,468
包括利益	85,014	93,754
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	85,014	93,754
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,201	111,911	551,630	△70,464	656,279
当期変動額					
剰余金の配当			△13,222		△13,222
親会社株主に帰属する当期純利益			81,191		81,191
自己株式の取得				△19,999	△19,999
自己株式の処分				669	669
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	67,969	△19,330	48,639
当期末残高	63,201	111,911	619,599	△89,794	704,918

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	12,405	△319	1,149	13,235	669,515
当期変動額					
剰余金の配当					△13,222
親会社株主に帰属する当期純利益					81,191
自己株式の取得					△19,999
自己株式の処分					669
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,179	5	637	3,822	3,822
当期変動額合計	3,179	5	637	3,822	52,461
当期末残高	15,585	△314	1,787	17,058	721,976

当連結会計年度(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,201	111,911	619,599	△89,794	704,918
当期変動額					
剰余金の配当			△13,167		△13,167
親会社株主に帰属する当期純利益			90,286		90,286
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		26		611	638
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	26	77,118	611	77,756
当期末残高	63,201	111,938	696,718	△89,183	782,674

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	15,585	△314	1,787	17,058	721,976
当期変動額					
剰余金の配当					△13,167
親会社株主に帰属する当期純利益					90,286
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					638
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,735	314	△580	3,468	3,468
当期変動額合計	3,735	314	△580	3,468	81,224
当期末残高	19,320	—	1,206	20,526	803,201

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	112,997	129,439
減価償却費	37,339	38,214
のれん償却額	247	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	388	△367
受取利息及び受取配当金	△904	△853
支払利息	208	222
為替差損益 (△は益)	△14	14
持分法による投資損益 (△は益)	△109	349
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,336	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,126	△2,134
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△743	649
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66	3,421
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,147	393
その他	7,180	1,690
小計	155,206	171,041
利息及び配当金の受取額	966	908
利息の支払額	△207	△206
法人税等の支払額	△33,104	△36,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,860	134,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△240,000	△290,000
定期預金の払戻による収入	245,000	250,000
有価証券の取得による支出	△36,998	△38,998
有価証券の償還による収入	43,998	34,708
有形固定資産の取得による支出	△55,122	△78,574
無形固定資産の取得による支出	△2,665	△5,277
投資有価証券の取得による支出	△1,019	△4,398
投資有価証券の売却による収入	2,336	—
その他	△511	△2,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,981	△135,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,850	3,850
長期借入金の返済による支出	△4,839	△5,011
社債の発行による収入	—	49,855
配当金の支払額	△13,173	△13,134
自己株式の取得による支出	△19,999	△0
自己株式の売却による収入	876	1,046
その他	△59	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,345	36,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	44,548	36,200
現金及び現金同等物の期首残高	141,801	186,350
現金及び現金同等物の期末残高	186,350	222,551

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「その他」が6,411百万円減少し、「投資その他の資産」の「その他」が1,519百万円増加しております。また、「固定負債」の「その他」が4,891百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が4,891百万円減少しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社の関係会社は、テーマパーク及びホテル等の経営・運営を主な事業としていることから、サービスの種類・性質及び販売市場の類似性等を考慮し、「テーマパーク」及び「ホテル」を報告セグメントとしております。

「テーマパーク」はテーマパークを経営・運営しております。「ホテル」はホテルを経営・運営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	テーマ パーク	ホテル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	395,978	66,447	462,426	16,854	479,280	—	479,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,647	603	7,250	3,810	11,061	(11,061)	—
計	402,626	67,050	469,676	20,665	490,342	(11,061)	479,280
セグメント利益	91,636	16,298	107,934	2,071	110,005	279	110,285
セグメント資産	566,864	90,192	657,056	43,957	701,014	209,659	910,673
その他の項目 (注) 4							
減価償却費	30,787	4,171	34,958	2,411	37,369	(30)	37,339
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	57,023	1,473	58,496	1,397	59,893	(5)	59,888

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イクスピアリ事業、モノレール事業、グループ内従業員食堂運営事業等を含んでおります。

2. (1) セグメント利益の調整額は279百万円であり、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額209,659百万円には、セグメント間取引消去△4,523百万円、各セグメントに配分していない全社資産214,182百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金、有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	テーマ パーク	ホテル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	437,495	72,427	509,923	15,699	525,622	—	525,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,991	641	7,632	3,949	11,581	(11,581)	—
計	444,487	73,068	517,555	19,648	537,204	(11,581)	525,622
セグメント利益	107,278	19,218	126,497	2,527	129,024	253	129,278
セグメント資産	664,289	89,203	753,493	44,944	798,438	253,016	1,051,455
その他の項目 (注) 4							
減価償却費	32,025	3,940	35,966	2,281	38,247	(33)	38,214
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	80,774	1,978	82,753	3,362	86,116	(66)	86,050

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イクスピアリ事業、モノレール事業、グループ内従業員食堂運営事業等を含んでおります。

2. (1) セグメント利益の調整額は253百万円であり、セグメント間取引消去によるものです。

(2) セグメント資産の調整額253,016百万円には、セグメント間取引消去△4,792百万円、各セグメントに配分していない全社資産257,809百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金及び預金、有価証券)及び長期投資資金(投資有価証券)等であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
1株当たり純資産額	2,196.56円	2,442.97円
1株当たり当期純利益金額	246.70円	274.65円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	236.50円	267.59円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	81,191	90,286
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(百万円)	81,191	90,286
普通株式の期中平均株式数(千株)	329,108	328,734
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	245	244
(うち支払手数料(税額相当額控除後) (百万円))	(245)	(244)
普通株式増加数(千株)	15,232	9,588
(うち新株予約権(千株))	(15,232)	(9,588)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(注) 従業員持株会型E S O Pの信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度495千株、当連結会計年度402千株)。また、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度540千株、当連結会計年度447千株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。